

知事と区市町村長との意見交換会(小平市)

令和2年9月23日(水)

15時20分～15時40分

○行政部長 それでは早速でございますが、意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いをいたします。

○知事 こうやって対面の会議は久々、前に来ていただきましたかね、はい。御多用のところ、都庁まで御足労いただきました。ありがとうございます。

コロナとの戦いと申しましょうか、これまでもいろいろと御協力を賜って参りました。コロナ対策とそして経済をどう動かしていくか、この両立を図ることは、なかなか大変ではございますけれども、それを覚悟しながら進めていくということだと思います。

新しい日常、そしてサステナブル・リカバリーという新しい視点を持ちつつ、長期戦略の策定を進めているところであり、小平市様の御意見を伺っていきたいというふうを考えております。オール東京で立ち向かう課題は多々あるかと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○行政部長 それでは小林市長、御発言をお願いいたします。

○小平市長 今日はこのような時間をとっていただきまして、本当にありがとうございます。また、急に官邸の方に御用があつて抜けられたと聞いております。本当に御苦勞様でございます。

それでは、時間に制限がございますので、早速始めさせていただきます。東京都と保健所未設置市との連携についてでございます。

感染者に関する情報提供につきましては今月、9月ですけれども、東京都より年代、性別、療養状況等の詳細な患者情報が週報で提供されるようになりました。これにより、当市のホームページでも東京都からの情報を元にした発信を行い、市民の不安を軽減する情報提供に取り組みやすくなりました。

そして二番目でございますが、小平市のPCR検査センターについてでございます。10月、来月から小平市医師会との連携協力の下、PCR検査センターを開設することになりました。週一日、一日当たり2時間でございますけれども、開設予定でございます。開設場所は非公表でございます。

その他といたしまして、月曜日から金曜日に開設をしている、感染症の指定病院、小平市には公立昭和病院がありますが、この公立昭和病院での発熱外来に小平市の医師会が週2回、大体一日当たり1時間30分程度でございますが、医師を派遣する応援体制を組んでいただいております。これにより、必要な人にはPCR検査が実施できるという体制になりました。

次に東京都と新宿区との連携事例でございますが、都心ではエピセンターと言われる感染震源地やクラスターが多数発生する等、多摩地域との感染拡大の動向に違いがあること

は私も理解はいたしておりますが、保健所未設置市にはこのような啓発活動等が必要かどうかという確認や調査がございませんでしたので、ぜひこのことは検討していただければというふうに思っております。

次に都補助金の水準維持、とりわけ以前にも申し上げましたが、北多摩地域への支援でございます。

現在、進められている主な都市計画事業について申し上げます。現在、鎌倉公園、それから鷹の台公園、これはいずれも都市計画公園でございます。令和2年7月に改定をされた「都市計画公園・緑地の整備方針」で重点化を図るべき公園緑地に位置付けられております。

この鎌倉公園につきましては面積が2.9ヘクタールで、概算事業費は76億円でございます。

それから鷹の台公園につきましては面積が1.3ヘクタールで、概算事業費は27億円でございます。こういった事業への補助を申請しますのでよろしくお願い申し上げます。

続きまして、小川駅西口地区市街地再開発でございます。20年余り時間が掛かりましたけれども、令和2年4月17日に東京都知事から、ようやく市街地再開発組合の設立が認可され、組合施行による事業が実施されることになりました。概算事業費は191億円と多額でございますが、この事業につきましても都の補助のお願いを申し上げたいというふうに思っております。

続きまして、都市計画道路3・3・3号新五日市街道線でございますが、この道路は先ほど申し上げました鎌倉公園へのアクセス道路で、第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業により、整備が進められているところであります。

これは延長幅が440メートル、道路幅員が28メートル、概算事業費は40億円。これは九割方が東京都の補助（※委託金）で成り立っている事業であります。これは、みちまちパートナー事業という名称で親しまれておりますが、この事業につきましてもぜひお願いを申し上げたいと思います。

それから都市計画道路の整備率、平成31年3月現在で、何度も申し上げますが、北多摩の地域は非常に都市計画道路の整備が遅れており、ちょっと数字で申し上げますと、東京都全体が66%でございます。多摩地域は61.9%、さほど差がないように思えますけれども、多摩北部、北多摩北部にいたっては38%で、もう半分くらいになります。ぜひともこの遅れている、東京から見放されているということですから、見放さないでください。（※北多摩北部地域を）是非お願いをしたいというふうに思っておりますので、よろしくお願い致します。

それから西武新宿線沿線等へのテレワーク拠点整備の推進・支援でございますが、これはテレワークにつきましては私の方から申し上げるまでもございませぬが、小平市は南北に10キロ、それから東西に4キロで、ちょうど真ん中が市街地と郊外の境目なんですよ。具体的に申し上げますと府中街道があるんですけども、そこを境に西側が郊外、そこから東側が市街地ということで、そういう意味ではテレワークには最適な場所でありますの

で、郊外の人にはそこに、逆に市街の人達は都心に向かうのではなくて逆走できますから、混雑が緩和されるということでございます。

そして東京テレワークモデルオフィスについてでございますが、これは設置場所の選定を含め、設置や運営の主体は、東京都（※東京都が設置に向けた地元市との事前調整や他市への協力依頼）でございます。

令和2年度末までのモデル事業という位置付けで、令和3年度以降につきましては現時点では未定ということであります。現在、決まっているのは府中と東久留米、それから国立でございますので、ぜひこの西武新宿線にもお願いできればというふうに思っております。

それからサテライトオフィスの設置、テレワーク導入への支援でございますが、東京都はサテライトオフィスの整備、運営を行う企業、団体等への補助を実施しております。できるだけ他の鉄道路線、今申し上げましたが西武新宿線、あるいは西武拝島線、これは小平を走っているんですけど、ぜひそこへもお願いできればというふうに思っております。

それから一企業単位ではなくて、複数の企業が合同で設置するという仕組みもございますので、お聞きをしたら既にそのような事業を実施の方向である（※している）ということを知っておりますので、併せてよろしくお願ひ申し上げます。私の方からは以上でございます。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは知事からお願いいたします。

○知事 まずコロナでありますけれども、皆様市区町村と連携しながら、都民に正しい情報を伝えていくということが、拡大防止のためにも重要かと考えております。

市区町村の皆さんと連携した対策を行うためにも、協議会を設置して会議の開催をいたしました。御意向等を伺ったところであります。やはり地域の実情に即した形での対策を講じていきたいと考えております。

それから情報提供ということで、必要なものについてはスピード感を持ってお伝えしているかと思いますが、まずは週1回「週報」としてまとめてお伝えするということでございますので、御参考にしていただき、市民の皆様方にお伝えいただければと、このように考えております。

それからテレワークですけれども、これまさしく今回のコロナが新しい働き方ということのだめ押しをしてくれたようなところがございます。多摩地域におけるテレワークのモデルオフィスを設置しまして、幅広くテレワークの体験機会を提供することで、更にそのメリットも発信をしているところであります。

それから整備、運営費の補助でありますけれども、引き続き連携してテレワークの普及に取り組んでいきたいと考えております。私からは以上です。

○副知事 それでは私から、道路や公園の整備についてお答えをさせていただきます。

ただ今、市長から小平3・3・3号線の話、鎌倉公園、鷹の台公園の話等ございましたが、一定の採択基準を満たす事業につきましては、都として市町村土木費補助を行っているところでございます。引き続き、地域の御要望を十分踏まえながら、しっかりと支援し

て参りたいと考えております。

また、小平駅西口地区の市街地開発事業についてでございますが、お話のとおり、今年の4月に組合施行による認可がされたところでございます。駅前交通広場が未整備で、防災面でも老朽化した住宅や商店が密集する等課題を抱えていることはそのとおりでございます。早期の事業の推進が必要であると、都としても認識しているところでございます。

平成30年度から財政的な支援を実施してきて参りまして、今後も円滑な事業の推進に向けて、市及び組合等の皆様と十分協力しながら支援を行って参りたいと考えております。

それからコロナ対策について、若干知事の御発言を補足させていただきますと、保健所未設置市と都の直営保健所の情報連絡を密にするということは、もう当然のことでございます。今後ともますますその必要性が高まってくると思っておりますので、ただ今の御意見につきましては、福祉保健局の方にも改めて伝えさせていただきたいと思っております。私からは以上です。

○行政部長 それでは小林市長、いかがでしょうか。何かございましたら、お願いいたします。

○小平市長 ありがとうございます。満額回答のようでありがとうございます。

保健所について私は各市が全て保健所を設置する必要性はないというふうに思っておりますが、今回のような非常時というのは、平時とは違いますので、そういう対応ができれば全て今、冷静さを欠いた議論がありますので、そういう意味では私は多摩北部のエリアでは偶然小平市に保健所がありますし、我々は密な連絡を取っておりますし、私は十分機能はしているというふうに思っております。

ただ、情報については確かに詳細な情報をいただくことで、もちろん個人情報等の取り扱いの問題はありますけれども、少し状況が落ち着いてきましたので、できるだけ市民の皆様が安心できるような情報を積極的に提供していきたいというふうに思っておりますので、今度とも保健所との連携を密にしていきたいと思っております。

また、都市計画については、これはもう本当に私などの首長の立場で言うと何代に渡って取り組んできて、ようやく私のところで形になってきたので、ここで東京都や国の方の予算がつかないと、また元に戻る。かなり反対が多くて、駅前再開発というのは本当に時間がかかりますので、あるいは都市計画公園もそうですけれども、作れ、作れと言うんですけど、作る時になれば反対すると。これの繰り返しがあるんですよ。総論ではいいけど、具体的には家の前に作るなという話になってしまうんですよ。そういうのを乗り越えてきたので、ぜひここは、今その予定で出してくださるということですので、遅滞なくぜひよろしく願いできればというふうに思っております。

あとテレワークにつきましては、冒頭でも私申し上げました、ちょうどうちが郊外と市街地とちょうど境目であります。ですから、うちは西側の方の人口が少し減っているんです。逆に東側の方が人口増えているんです。小平市は待機児童が東京都で3番目、多摩地

域でうちが一番多いんですよ。

○知事 159人。

○小平市長 159人います。私が保育所を作るのが滞っているんじゃないかみたいなどころがありますが、この微妙な地政学的な問題があるものですから非常に難しいんです。毎年一園なり二園なり作ってはきていますけど、それを超えるですね、人口流入。大型のマンションが出来ているので、そういう意味では小平市にちょうどサテライトオフィス、テレワーク、こういった拠点を作っていただければ、郊外の方からはわざわざ新宿まで来なくて、途中の小平で降りられる。あるいは逆に都心に勤めておられる人は都心の方じゃなくて、逆にガラガラの所に電車に乗って来られますから、ぜひ小平とは言いませんが小平辺りに、国分寺もあります。東久留米はだからちょうどその辺に入るんだと思うんですね。そんなことで何とかお願いできればというふうに思っております。

こういう時期ですから、各首長さんもっとお金をばらまけとかという話は時々聞きますけど、私はもちろんそれは一時的にそういうことは受け入れられるのかもしれないけど、将来的に地域の経済の底上げも含めて、現金支給ではなくて現物で政策的な事業とかを進めるっていうのは、私の基本的な考え方でありますので、そういったところは今、市としても国や東京都がやらないような事業、やはり国は大きな、東京都はそれより小さな、我々はそこからこぼれ落ちた、本当に零細なところを救済するという事業を今進めております。

具体的に申し上げれば児童養護施設の退所者、18歳でいきなり社会に出るわけですけど、私のような時代は当たり前でしたけど、養護施設ですから、そういった人に少し生活資金をあげるとか、あるいは売上が、事業継続資金ですか、50%以下に落ち込んだところには（※国が持続化給付金を）出しますけども、しかしそれ以下のところに出せないの、そこに20%から50%まで落ち込んだところには出すとか、あるいは家賃補助。国の対象外になるところの福祉、介護ですね。そういった所に出すということで進めているわけで、ようやく今落ち着いてきましたので、そんな過激なことを言う人もだんだん少なくなってきました、ほっとしているところでございますけれども。私の方からは以上です。

○行政部長 どうもありがとうございます。それでは最後に知事からお願いいたします。

○知事 御苦労様でございます。コロナ以前と以後ではかなり多くのことが課題となって浮き彫りになっているのと、それがネガティブなもの、ポジティブなもの両方ありますので、それらをうまく。ただこれまでの延長線ではなく、東京の価値を高めるための知恵が試されているんだろうというふうに思っておりますので、今後ともよろしく連携の方を取って参りましょう。ありがとうございました。

○小平市長 はい。

○行政部長 それでは以上で終了いたします。本日は御多用のところ、どうもありがとうございました。